

# 令和5年度 出資団体評価シート

## 1 基本情報

団体名	株式会社 札幌振興公社		所管課	経) 観光・MICE推進課	
基本財産	562,600千円		記入者	担当 澤田	電話 011-211-2376
設立年月日	昭和32年(1957年) 7月12日		本市出資額	477,600千円 (出資割合 84.9%)	
設立・出資目的	<p>公共用地の先行取得事業、不動産賃貸事業、児童遊園施設等の経営を行うことを目的に設立された。その後、平成10年12月に株式会社札幌交通開発公社を吸収合併し、藻岩山ロープウェイ等の事業を引き継いだ。</p> <p>当初、公有地の先行取得を主な目的としていたが、現在は、不動産の賃貸、駐車場等の公益的事業の管理運営、観光・スポーツ施設の管理運営等を通じて都市機能の維持向上を図ることを目的としている。</p>		沿革	<p>昭和32年 会社設立</p> <p>昭和60年 藻岩山ロープウェイ営業開始 (※)</p> <p>平成 8年 大倉山ジャンプ競技場等の管理開始</p> <p>平成10年 札幌交通開発公社と合併</p> <p>平成23年 藻岩山ロープウェイリニューアル</p> <p>※印は札幌交通開発公社の事業</p>	
代表者	代表取締役社長 (常勤) 浦田 洋 (市OB)				
主な出資者	① 札幌市 (84.9%) ② (株)北洋銀行 (7.1%) ③ (株)北海道銀行 (3.6%) ④ 北海道瓦斯(株) (1.8%) ⑤ (株)さっぽろテレビ塔 (1.6%) ⑥ 札幌商工会議所 (1.1%)				
団体所在地	〒060-0012 札幌市中央区北12条西23丁目 2番 5号SDC北12条ビル 電話 011-616-1601				

## 2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① ジャンプ競技場等の管理運営 (6ページ)	② 札幌駅周辺自転車等駐車場管理 (7ページ)
ジャンプ競技場の指定管理等を通じて、ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、普及振興及び競技力の向上を図る。また、オリンピックミュージアムのリニューアル及びオリンピックミュージアムネットワークへの加盟を契機として、オリンピズムの普及啓発及び冬季オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図る。	指定管理者として札幌駅周辺の駐輪場の適切かつ円滑な管理を行う。
③ 大通周辺自転車等駐車場管理 (8ページ)	④ 不動産賃貸・駐車場事業等 (8ページ)
指定管理者として大通周辺の駐輪場の適切かつ円滑な管理を行う。	不動産賃貸については、札幌市の要請に基づいて建設したビル等の経営や公社所有地の有効活用を通じて、都市機能の向上に寄与する。直営駐車場について、地下鉄駅等の交通機関の要衝に位置しており、パークアンドライドを目的とした駐車場を中心に管理運営し、都心の渋滞緩和や公共交通機関の利用促進を促すことに寄与する。
⑤ 藻岩山観光事業 (9ページ)	⑥
札幌の観光を代表する藻岩山は、その自然を生かした観光資源として、保全と活用によって魅力アップを一層促進し、市民には誇りと、観光客には喜びや、驚きを与える観光名所として重要な役割を担っていく。	
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合 79.3% (主要事業支出合計 2,205,992千円 ÷ 総支出 2,780,836千円)	
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	日本新三大夜景都市に札幌が認定された理由の一つとして、藻岩山の観光資源である夜景の魅力向上に努めたことが大きく貢献していると考えられることなどから、藻岩山観光事業は観光振興に寄与しており、札幌振興公社が行うその他各事業においても、出資・設立目的に対して一定の効果が出ているものとするが、今後、事業効果をより一層高めていく必要があると認識している。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	主要事業については、出資・設立目的を達成するために必要な事業を実施していると認識しているが、今後も内容の工夫を求めていく。

### 3 団体職員・構成員等

令和5年4月1日現在(単位：人)

役員	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員任期			
						10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	取締役	監査役
常勤取締役	3	0	3	0	15	0	5	17	16	11	1	2年	4年
常勤監査役	0	0	0	0		平均年齢	41.9	歳	代表権のある役員 の就任年月				
非常勤取締役	7									取締役	R4.6		
非常勤監査役	2									監査役	-		
職員					185							職員総数の推移(人)	
常勤管理職	1	0	10	1								R03.4.1時点	175
常勤一般職	0	0	40	58								R04.4.1時点	170
非常勤職員	75												

#### 4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R3年度決算	R4年度決算	(前年比)	
財務状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	2,269,592	2,872,813 (100.0%) (+603,221)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	2,125,659	2,780,836 (+655,177)
			営業費用 (b)	2,487,208	2,765,794 (+278,586)
			うち販売費・一般管理費 (c)	2,430,396	2,657,749 (92.5%) (+227,353)
			うち人件費 (d)	689,306	785,491 (27.3%) (+96,185)
			営業利益 (e)	▲ 361,549	15,042 (+376,591)
	営業外	営業外収益 (f)	143,933	91,977 (▲ 51,956)	
		当期純利益 (g)	▲ 288,656	32,449 (+321,105)	
	貸借対照表	資産 (h)	流動資産 (i)	1,047,568	1,097,009 (+49,441)
			固定資産 (j)	11,750,908	11,666,801 (▲ 84,107)
			負債 (k)	10,509,739	10,442,625 (▲ 67,114)
		流動負債 (l)	流動負債 (l)	1,746,426	2,138,579 (+392,153)
			固定負債 (m)	8,763,313	8,304,046 (▲ 459,267)
		純資産 (n)	2,288,736	2,321,185 (+32,449)	
資本金 (o)		100,000	100,000 (0)		
借入金残高 (p)		3,304,172	3,902,680 (+598,508)		

#### R4年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a ~ d	下期にかけて新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着きを見せ始め、観光事業の来場者数が大幅に回復。その結果、前年と比較し売上が6億5,500万円程の増収する結果となった。
e ~ g	上記の要因により、営業利益についても前年の3億6千万円程の赤字から1,500万円程の黒字化をするなど業況は好調に推移した1年となった。
h ~ m	資産科目については固定資産の減価償却が進んだことなどにより、固定資産が減少した。負債科目については北8西1再開発事業のつなぎ融資（4億2,000万円）により流動負債が増加、固定負債については各種返済が進んだことにより減少する結果となった。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

#### 5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R3年度決算	R4年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	20,359	(+20,359)
市委託料	201,352	242,292	(+40,940)
市業務委託料	5,982	6,376	(+394)
うち随意契約	924	1,043	(+119)
市指定管理費	195,370	235,916	(+40,546)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	94,834	158,550	(+63,716)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率	(50.9%)	(70.7%)	(+19.8%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	58,224	130,088	(+71,864)
うち非公募	0	0	(0)

## 6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	2,188,736	2,221,185	(+32,449)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	17.9%	18.2%	(+0.3%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	60.0%	51.3%	(▲8.7%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	513.4%	502.6%	(▲10.8%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	25.8%	30.6%	(+4.8%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	12,969千円	16,899千円	(+3,930千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	32.4%	28.2%	(▲4.2%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	13,888千円	15,634千円	(+1,746千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	114.3%	95.6%	(▲18.8%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	0.0%	0.7%	(+0.7%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	11.4%	13.7%	(+2.2%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益

### 健全性の評価

非常に高い
  高い
  概ね健全
  やや低い
  低い

**理由**  
 健全性については、剰余金が前年度より増加し、自己資本比率もプラスに転じたが、流動比率については評価基準を大きく下回っている。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて過去数年間の売上が大きく減少した結果と考えられるが、昨年と比べ改善傾向にあるため、動向を見守ることとする。生産性については、概ね評価基準を上回っているが、人件費率は増加している。自立性については、市財政的関与割合が前年度よりやや増加しているものの、概ね自立性の高い状態が保たれていると判断される。

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

## 7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

### (1)出資・出捐

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○出資比率の引き下げについての検討						
①	市出資金(資本準備金を含む)	目標	477,600千円	477,600千円	477,600千円	
		実績	477,600千円	477,600千円	477,600千円	
		評価	達成	達成		
②	出資比率の引き下げ検討	目標	引き下げ検討	引き下げ検討	引き下げ検討	
		実績	検討実施	検討実施	検討実施	
		評価	達成	達成		
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
-						

### (2)人的関与

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○最低限の人的関与の継続						
①	市職員派遣数	目標	0	0	0	
		実績	0	0	0	
		評価	達成	達成		
②	役員の就任数(取締役)	目標	2	2	2	
		実績	2	2	2	
		評価	達成	達成		
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
-						

### (3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○藻岩山、大倉山の利用者増						
①	藻岩山施設（ロープウェイ・観光道路）利用者数	目標	616千人	906千人	906千人	
		実績	384千人	368千人	656千人	
		評価	未達成	未達成		
②	大倉山施設（リフト）利用者数	目標	419千人	511千人	511千人	
		実績	257千人	151千人	347千人	
		評価	未達成	未達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
R4年度の目標値は新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少を見込んでおらず、平常年度の目標となっているが、R4年度も新型コロナウイルス感染症の影響が引き続き続いており、実績は新型コロナウイルス感染症による制限などもあり利用者数が減少し目標未達となった。						

### (4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○業務効率化による経費の削減						
①	一般管理費（人件費及び減価償却費を除く）	目標	1,247,251千円	1,408,083千円	1,405,112千円	
		実績	1,245,348千円	1,130,292千円	1,268,918千円	
		評価	達成	達成		
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

### (5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○社員の資質向上						
①	コンプライアンス研修の受講率	目標	100%	100%	100%	
		実績	100%	100%	100%	
		評価	達成	達成		
②	索道技術研修延べ参加人数	目標	16人	20人	20人	
		実績	16人	3人	11人	
		評価	未達成	未達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
②新型コロナウイルス感染症の影響を加味し、出席人数を調整した為。						

### (6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○障がいのある方の自立支援						
①	障がいのある方の雇用人数	目標	3人(法定)	3人(法定)	3人(法定)	② R2年度実績及びR3年度以降の目標数値は該当業務(単発)の発注件数としておりましたが、R3年度実績の内訳は大倉山・藻岩山の両レストランにおいて新規でクリーニングの年間委託契約を締結致しました。評価を「達成」とした理由は従前の基準件数では6件を超える計算となるためです。
		実績	2人	2人	2人	
		評価	未達成	未達成		
②	障がい者就労施設からの物品調達・業務委託件数	目標	6件	6件	6件	
		実績	3件	2件	2件	
		評価	達成	達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
①札幌市障がい者元気スキルアップ事業を活用する等、随時、求職者情報の収集と業務内容のマッチングを行っているが、法定人数を満たす採用には至っておらず、継続して採用活動を行っている。						

## 8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報				
ホームページアドレス	<a href="https://sapporo-dc.co.jp/">https://sapporo-dc.co.jp/</a>			
Eメールアドレス	なし			
【経営状況等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 定款	<input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿	<input type="checkbox"/> 団体機構図	<input type="checkbox"/> 事業計画書	<input type="checkbox"/> 予算書
<input type="checkbox"/> 事業報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 決算書	<input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画		
【事業情報等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報	<input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報			
<input type="checkbox"/> その他（	）			
ホームページ以外の情報媒体				
広報誌・冊子の発行：	パンフレット			

# 事業評価 ( 1 ) ジャンプ競技場等の管理運営

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 谷内	電話： 011-211-3045
(1)事業内容	①札幌市大倉山ジャンプ競技場 ②札幌市宮の森ジャンプ競技場 ③札幌市荒井山ジャンツェ ④札幌オリンピックミュージアム  ・施設、設備の維持管理 ・施設の利用供与 ・大型映像車貸出 ジャンプ大会、防災訓練、各種道内イベント等 ・イベントの実施(自主事業) 大倉山ウィンターフェスタの実施		市指定管理費(公募) 174,936
(2)事業目的	観光・スポーツ施設の管理運営等を通じて都市機能の維持向上を図るため		
(3)事業開始	①、②、③：平成8年(1996年)4月 ④：平成12年(2000年)4月 ※平成18年からは指定管理者として業務を継続		

## 2. 実施結果

(1)事業収支(単位:千円)	R3年度		R4年度		(前年比)
	収入(経常収益比)	224,753 (9.9%)	260,002 (9.1%)		
市補助金・交付金・負担金	0	0			(0)
市業務委託料	0	0			(0)
市指定管理費	164,156	174,936			(+10,780)
市施設利用料金収入	24,954	50,259			(+25,305)
自主事業収入(補助金除く)	5,510	18,236			(+12,726)
その他収入	30,133	16,571			(▲13,562)
費用(支出)	254,506	286,323			(+31,817)
事業費	223,467	258,187			(+34,720)
管理費等	31,039	28,136			(▲2,903)
収支差	▲29,753	▲26,321			(+3,432)
収支比率	88.31%	90.81%			(+2.50%)
(2)活動指標	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標	
① ジャンプ練習促進の為、ジャンプ台無料開放(7/1~10/20の金土日)	10日間	実施	12日間	実施	
② ウィンターフェスタの実施	中止	実施	実施	実施	
③ オリパラ教育の実施	実施(65校)	実施(68校)	実施(68校)	実施(76校)	
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標	
① リフト利用者数(延べ人数)	151,226	166,000	347,279	463,000	
② ミュージアム来場者数	60,929	39,000	89,461	124,000	
③ ミュージアム来場者アンケート総合満足度	97%	97%	95%	97%	
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	札幌オリンピックミュージアムの来場者数については、特定天井改修工事による休館もありコロナ禍前の水準には達していないものの、前年度と比較大きく増加している。 また、コロナの影響により中止していた事業についても再開させており、今後も施設の魅力や、大倉山全体の魅力を上げる施策を実施し、ジャンプ競技やウィンタースポーツの普及振興、観光振興に寄与していただきたい。 さらに、オリンピズムの普及という観点では、市内の小学校68校へのオリパラ教育を実施しており、今後とも継続して取り組んでいただきたい。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	コロナの収束傾向により施設利用料金収入等が大幅に増加し、収支は改善しているもの、前年度に引き続き赤字となっている。新たな顧客の開拓や、大倉山ジャンプ競技場の魅力を上げることにより、来場者数の増加を図り、安定した施設の管理運営に取り組んでいただきたい。

# 事業評価 ( 2 ) 札幌駅周辺自転車等駐輪場管理

1. 事業概要	事業所管課： 建設局総務部自転車対策担当課	担当： 中居	電話： 011-211-2456
(1)事業内容	各種駐輪場の管理運営、駐輪場料金の収受		市指定管理費(公募) 13,078
(2)事業目的	駐輪場の適切かつ円滑な管理を通じた都市機能の維持向上を図るため		
(3)事業開始	平成19年度		

## 2. 実施結果

		R3年度	R4年度	(前年比)	
(1)事業収支 (単位：千円)	収入(経常収益比)	48,623 ( 2.1 % )	52,079 ( 1.8 % )	( +3,456 )	
	市補助金・交付金・負担金	0	0	( 0 )	
	市業務委託料	0	0	( 0 )	
	市指定管理費	13,453	13,078	( ▲ 375 )	
	市施設利用料金収入	33,270	36,364	( +3,094 )	
	自主事業収入(補助金除く)	1,900	2,611	( +711 )	
	その他収入	0	26	( +26 )	
	費用(支出)	47,334	48,962	( +1,628 )	
	事業費	47,334	48,962	( +1,628 )	
	管理費等	0	0	( 0 )	
	収支差	1,289	3,117	( +1,828 )	
収支比率	102.72%	106.37%	( +3.64% )		
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	職員の意識統制による親切で丁寧なサービスの徹底	実施	実施	実施	実施
②	自転車等管理システムによる円滑で正確な管理体制の実践	実施	実施	実施	実施
③	定期券販売開始日等の繁忙期における人員増員(案内・整理・誘導対応)	実施	実施	実施	実施
④	パンフレット・ポスター・WEBを利用した周知徹底	実施	実施	実施	実施
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	有料駐輪場利用者数(定期利用)	5,432	5,500	5,563	4,500
②	有料駐輪場利用者数(一時利用)	142,540	143,000	148,578	143,000
③	有料駐輪場利用料金収入(千円)	33,270	33,508	36,364	36,043
④	利用者満足調査(※)	97%	100%	91%	100%
⑤	※(ホームページでのアンケート調査で運営管理について「良い」・「普通」・「悪い」の内「普通」以上と回答した割合)				
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	駐輪場の利用件数が昨年度実績を大きく上回ることができている。また、施設は円滑に管理運営され、利用者からの意見に基づき運用方法を改善しており、利用者の満足度も概ね高いことは評価することができる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	利用料金収入は前年度よりも増加し、計画の金額を上回った一方で、利用者の増加や物価上昇の影響もある中で、コストの上昇を最小限に留めることにより、収支比率が上昇した点は評価できる。

# 事業評価 ( 3 ) 大通周辺自転車等駐輪場管理

1. 事業概要	事業所管課： 建設局総務部自転車対策担当課	担当： 中居	電話： 011-211-2456
(1)事業内容	各種駐輪場の管理運営、駐輪場料金の収受		市指定管理費(公募) 26,455
(2)事業目的	駐輪場の適切かつ円滑な管理を通じた都市機能の維持向上を図るため		
(3)事業開始	令和4年度		

## 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位: 千円)	R3年度		R4年度		(前年比)	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
収入 (経常収益比)	0	( 0.0 % )	69,919	( 2.4 % )	(+69,919)	
市補助金・交付金・負担金			0		(0)	
市業務委託料			0		(0)	
市指定管理費			26,455		(+26,455)	
市施設利用料金収入			43,464		(+43,464)	
自主事業収入 (補助金除く)			0		(0)	
その他収入			0		(0)	
費用 (支出)	0		66,888		(+66,888)	
事業費			66,888		(+66,888)	
管理費等			0		(0)	
収支差	0		3,031		(+3,031)	
収支比率	#DIV/0!		104.53%		#DIV/0!	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標	
① 職員の意識統制による親切で丁寧なサービスの徹底			実施	実施	実施	
② 自転車等管理システムによる円滑で正確な管理体制の実践			実施	実施	実施	
③ 定期券販売開始日等の繁忙期における人員増員 (案内・整理・誘導対応)			実施	実施	実施	
④ パンフレット・ポスター・WEBを利用した周知徹底			実施	実施	実施	
⑤						
⑥						
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標	
① 有料駐輪場利用者数 (定期利用)			6,000	7,018	5,500	
② 有料駐輪場利用者数 (一時利用)			140,000	212,660	207,000	
③ 有料駐輪場利用料金収入 (千円)			30,447	43,464	46,986	
④ 利用者満足調査 (※)			100%	98%	100%	
⑤ ※ (ホームページでのアンケート調査で運営管理について「良い」・「普通」・「悪い」の内「普通」以上と回答した割合)						
⑥						

## 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	駐輪場の利用件数が目標値を大きく上回ることができている。また、駐輪場の運用開始初年度ではあるが、施設の管理運営は適正に執行され、利用者からの意見に基づき運用方法を改善しており、利用者の満足度も高いことは評価することができる。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	利用料金収入が目標値金額を超えており、物価上昇の影響もある中で黒字収支となった点は評価できる。

# 事業評価 ( 4 ) 不動産賃貸・駐車場事業等

1. 事業概要	事業所管課： 経) 観光・MICE推進課	担当： 澤田	電話： 011-211-2376
(1)事業内容	①建物賃貸事業 SDC北12条ビル、宮の沢ターミナルビル、白石ガーデンプレイス、セレスタ札幌、大谷地アドバンシービル（セカンドストリート等）、幌北総合センターすすきの市場、山の手店舗（インポート・プラス）新札幌薬局（クリオネ薬局）、さっぽろ創世スクエア北14条複合店舗（オートボックス）、旧小熊邸（ドリーバーデン）など  ②月極・時間貸し駐車場の運営 二十四軒、新札幌、大谷地、琴似北14条、大谷地東、宮の沢（全てパークアンドライド実施）		
(2)事業目的	直営駐車場においては、地下鉄駅等の交通機関の要衝に位置することから、パークアンドライドを目的とした駐車場が多い。従って、都心の渋滞緩和や公共交通機関の利用促進を促すことを目的とする。		
(3)事業開始	平成10年度		

## 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	R3年度		R4年度		(前年比)
	収入 (経常収益比)	1,469,557 (64.7%)	1,529,727 (53.2%)		
市補助金・交付金・負担金	0	0			(0)
市業務委託料	0	0			(0)
市指定管理費	0	0			(0)
市施設利用料金収入	0	0			(0)
自主事業収入 (補助金除く)	1,442,264	1,467,654			(+25,390)
その他収入	27,293	62,073			(+34,780)
費用 (支出)	1,141,934	1,144,347			(+2,413)
事業費	1,141,934	1,144,347			(+2,413)
管理費等	0	0			(0)
収支差	327,623	385,380			(+57,757)
収支比率	128.69%	133.68%			(+4.99%)
(2)活動指標	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標	
①テナントに向けた不動産仲介会社との連携	実施	実施	実施	実施	
②ホームページ等での駐車場案内	実施	実施	実施	実施	
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標	
①直営駐車場 (満車達成率)	72%	80%	68%	80%	
②賃貸ビル等 (稼働率)	96%	100%	96%	100%	
③					
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	建物賃貸事業の稼働率、駐車場事業の満車達成率が共に目標達成に至っていない。今後もテナント募集に向けた不動産仲介業者との連携やホームページ等での駐車案内を継続して実施するとともに、都心の渋滞緩和や公共交通機関の利用促進を図るために、更なる利用促進について取り組んでいただきたい。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	昨年までは新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、収支については改善傾向が続いており、良好な状況と考えられる。今後も、経費削減に努めながら、安定的かつ継続的な収入を確保するために、賃料収入の増加のための施策を講じるなど、不動産及び駐車場の利用拡大の促進に努めていただきたい。

# 事業評価 ( 5 ) 藻岩山観光事業

1. 事業概要	事業所管課： 経) 観光・MICE推進課	担当： 澤田	電話： 011-211-2376
(1)事業内容	①藻岩山ロープウェイの経営 ②藻岩山観光道路の経営 ③藻岩山頂展望台の経営 ④藻岩山山頂レストラン「THE JEWELS」の経営 ⑤藻岩山スキー場ロッジの経営 ⑥藻岩山中腹売店の経営		市委託料(随意契約) 948
(2)事業目的	札幌の観光を代表する藻岩山は、その自然を生かした観光資源として、保全と活用によって魅力アップを一層促進し、市民の憩いの場として、また観光客で賑わう観光名所として重要な役割を担っていくことが求められている。従って、市民の藻岩山観光に対する再認識のための広告・営業活動・観光客誘致のための旅行代理店等に対する営業活動等を通して、更なる利用を促進させる。		
(3)事業開始	昭和60年(1985年) 8月		

## 2. 実施結果

		R3年度	R4年度	(前年比)	
(1)事業収支 (単位: 千円)	収入(経常収益比)	353,220 ( 15.6 % )	696,540 ( 24.2 % )	( +343,320 )	
	市補助金・交付金・負担金	0	0	( 0 )	
	市業務委託料	840	948	( +108 )	
	市指定管理費	0	0	( 0 )	
	市施設利用料金収入	0	0	( 0 )	
	自主事業収入(補助金除く)	297,519	685,032	( +387,513 )	
	その他収入	54,861	10,560	( ▲ 44,301 )	
	費用(支出)	562,114	659,472	( +97,358 )	
	事業費	562,114	659,472	( +97,358 )	
	管理費等	0	0	( 0 )	
収支差	▲ 208,894	37,068	( +245,962 )		
収支比率	62.84%	105.62%	( +42.78% )		
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	イベント回数	2回	2回	2回	2回
②	札幌市内小学生生徒等へのイベント告知(チラシ配布)	未実施	1回	1回	1回
③	索道技術研修(外部主催)	1回	10回	4回	4回
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	藻岩山施設利用者数(延人員)	368千人	411千人	693千人	808千人
②	市民割引利用者数(実人員)	15,616人	25,940人	23,302人	28,069人
③					
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつあり、利用者が大きく伸びている。サービスの向上や安全運行の強化に取り組むとともに、藻岩山全体の魅力向上を図ることにより、市民や観光客の満足度や利用率の向上へ繋がることを期待する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつあり、収支差が大きく改善した。道内外の観光客はもとより市民に対しても情報発信を行うことにより、利用率の向上を図り、安定的な収益の維持・向上に努めることを期待する。

## 1 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>I 流動資産</b>	<b>1,097,009,386</b>	<b>I 流動負債</b>	<b>2,138,579,260</b>
現金・預金	758,820,474	短期借入金	1,321,000,000
売掛金	1,486,293	一年以内返済予定長期借入金	216,048,000
商品	11,872,990	一年以内償還予定社債	0
材料品	5,626,602	買掛金	5,958,588
貯蔵品	54,241,502	未払金	168,565,865
前払費用	35,834,320	未払費用	2,470,748
未収金	159,689,207	未払消費税等	68,942,200
立替金	2,110,293	未払法人税等	1,410,000
仮払金	67,280,739	前受金	104,189,396
未収法人税等	46,966	預り金	11,414,095
<b>II 固定資産</b>	<b>11,666,800,923</b>	仮受金	9,981,798
<b>1 有形固定資産</b>	<b>( 11,269,157,030)</b>	リース債務	228,598,570
建物	4,180,992,224	<b>II 固定負債</b>	<b>8,304,046,269</b>
建物附属設備	774,072,301	長期借入金	2,365,632,000
構築物	359,626,051	社債	500,000,000
機械及び装置	797,826,128	退職給付引当金	86,767,805
器具備品	89,853,008	長期未払金	34,604
車両	3,826,951	預り敷金	881,443,432
リース資産	4,295,409,800	預り保証金	146,704,310
土地	767,550,567	リース債務	4,323,464,118
<b>2 無形固定資産</b>	<b>( 6,582,602)</b>	<b>負債合計</b>	<b>10,442,625,529</b>
電話加入権	2,475,662	<b>株主資本</b>	<b>2,321,184,780</b>
商標権	1,437,135	<b>1 資本金</b>	<b>100,000,000</b>
ソフトウェア	2,669,805	<b>2 資本剰余金</b>	<b>462,600,000</b>
<b>3 投資その他の資産</b>	<b>( 391,061,291)</b>	資本準備金	462,600,000
差入保証金	361,325,994	<b>3 利益剰余金</b>	<b>1,758,584,780</b>
預託金	131,580	1)利益準備金	42,330,000
投資有価証券	8,001,000	2)その他の利益剰余金	1,716,254,780
保険積立金	191,600	固定資産圧縮積立金	217,796,159
長期前払費用	21,411,117	別途積立金	2,005,000,000
		繰越利益剰余金	△ 506,541,379
<b>資産合計</b>	<b>12,763,810,309</b>	<b>純資産合計</b>	<b>2,321,184,780</b>
		<b>負債及び純資産合計</b>	<b>12,763,810,309</b>

2 損益計算書

自 令和 4年 4月 1日  
至 令和 5年 3月 31日

(単位：円)

科 目	金 額	
I 売 上 高		2,780,835,665
地代及び家賃収入	983,658,416	
駐車場収入	455,113,120	
受託料収入	234,517,360	
索道収入	579,709,100	
利用料金収入	156,928,492	
その他売上高	370,909,177	
II 売 上 原 価		108,044,523
売上総利益（△は損失）		2,672,791,142
III 販売費及び一般管理費		2,657,749,247
営業利益（△は損失）		15,041,895
IV 営 業 外 収 益		91,976,978
受取配当金	230,000	
その他営業外収益	91,746,978	
V 営 業 外 費 用		71,203,247
支払利息	58,699,671	
社債利息	2,962,717	
その他営業外費用	9,540,859	
経常利益（△は損失）		35,815,626
VI 特 別 利 益		18,287,071
固定資産売却益	107,071	
受取補助金	18,180,000	
VII 特 別 損 失		20,244,077
固定資産除却損	2,064,079	
固定資産圧縮損	18,179,998	
税引前当期純利益（△は損失）		33,858,620
法人税、住民税及び事業税		1,410,000
当期純利益（△は損失）		32,448,620